



生活クラブ風車



夢風News

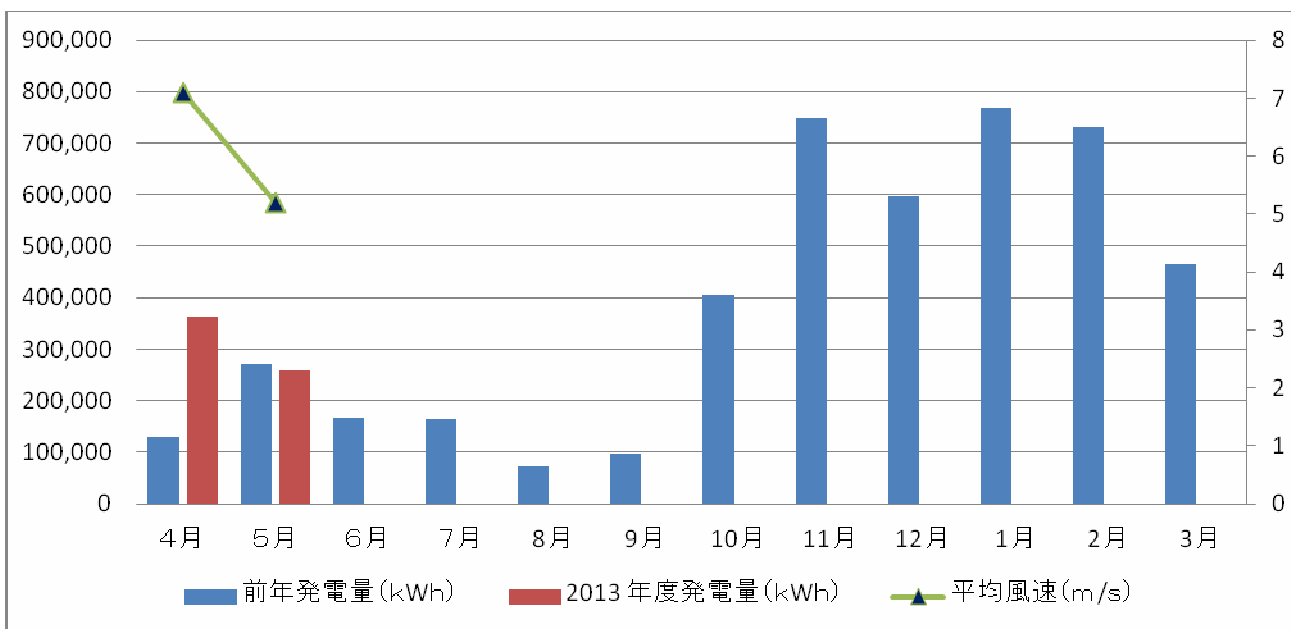
Vol.12

●発行 2013. 6. 15 一般社団法人グリーンファンド秋田

●発行責任者 半澤彰浩（代表理事） ●編集責任者 鈴木伸予

■ 風車の発電実績 ■

	発電量 (kWh)	【前年比%】	平均風速 (m/s)	設備利用率 (%)
4月	364,062	【281.0%】	7.1	25.4
5月	257,970	【95.6%】	5.2	17.4



・今年は気温の低い日が続き、にかほ市でも田植えが例年より 1～2 週間ほど遅くなったとの事です。

・5月は、発電量 257,970 kWh、前年比 95.6%

とほぼ前年並みの実績となりました。

・平均風速 5.2m/s と、春になり風が穏やかになってきました。風のエネルギーは風速の3乗に比例しますので、風速が風車の発電量に大きく効いてきます。設備利用率は 17.4%となりました。

*3月8日より出力制限運転で定格出力 1,000 kW となっていますが、設備利用率は 1,990 kW として算出しています。



■ 定時社員総会報告 ■

- 一般社団法人グリーンファンド秋田の第5回定時社員総会を5月29日に開催し、2012年度の事業の報告、決算報告、監査報告、2013年度の事業計画及び予算を承認しました。また、FITで生み出された資源を活用し、グリーンファンド秋田の機能の拡充をすすめるため、定款の事業内容を一部改定しました。改選期に伴い、理事及び監事の選任を行ないました。
- 2012年度1年間の総発電量は4,615,532kWhで計画比97.8%となりました。平均風速6.2m、設備利用率26.5%です。総売上高は、3月から固定価格買取制度に移行したこともあり、計画比105.2%となりました。
- 2013年度の事業計画は、年間総発電量4,400,000kWhを見込みます。
2013年度は、新たな業務体制にもとづいた風力発電事業の管理、マネジメント強化をはじめとし、生活クラブと連携して1周年記念イベントの開催、にかほ市と生活クラブ組合員との交流やイベントなど普及啓発事業、にかほ市と生活クラブとグリーンファンド秋田3者による連携推進協議会の設置、夢風ニュースの発行、などをすすめます。



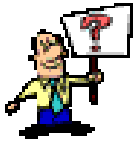
【社員総会って?】

グリーンファンド秋田の社員は、以下の6法人です。生活クラブ東京、神奈川、埼玉、千葉、NPO法人北海道グリーンファンド、(株)市民風力発電。社員総会は、一般社団法人の最高議決機関で、生活クラブの総代会のような位置づけのものです。

■ 第1回理事会報告 ■

- 社員総会後に第1回理事会を開催し、半澤理事が代表理事として選任されました。
- 2013年度グリーンファンド秋田の理事・監事は以下の方々です。

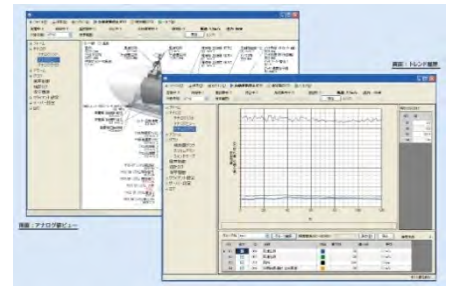
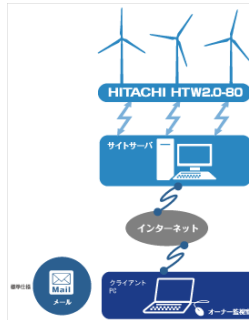
代表理事	半澤 彰浩	(生活クラブ神奈川)
理事	赤坂 禎博	(生活クラブ東京)
理事	重盛 智	(生活クラブ埼玉)
理事	山本 裕一郎	(生活クラブ千葉)
理事	鈴木 亨	(特定非営利活動法人北海道グリーンファンド)
理事	加藤 秀生	(株式会社市民風力発電)
監事	大石 高久	(生活クラブ神奈川)
監事	滝本 しのぶ	(株式会社市民風力発電)



生活クラブ風車Q&A

Q：風車の運転はどうやってコントロールしているの？

A：風車には、遠隔制御監視システム（SCADA）が備わっています。秋田県にかほ市にある生活クラブ風車から、羽の回転速度やナセルの向きなど他 100 点ほどの運転データや、風速や発電量などのデータをサーバーに収集します。このサーバーからインターネットで、生活クラブ風車の運転状態をリアルタイムで札幌市にある(株)市民風力発電に送られます。



市民風力発電のオペレーターの皆さんが、パソコンで風車の運転状況を日々監視し、遠隔操作で風車の運転制御をしています。何かのトラブルで風車が、停止した場合もすぐに対応することで、風車の稼働率を上げることが出来ます。

にかほの風だより ～こんなに感動がいっぱい！にかほの観光～ ①



にかほ市産業建設部観光課の皆さん
後列右から 2 人目 佐藤均課長、
3 人目 今野伸二副主幹

生活クラブ生協の皆様、初めまして。 秋田県にかほ市観光課の今野伸二と申します。

皆様の「夢風」は、本日も日本海の風を受け、元気いっぱい稼働しております。私たちも「夢風」に負けないよう元気ががんばりたいと思います。前回までは、広報担当の渡部が皆様に色々な情報を提供していたと思いますが、今年は、私を含め観光課職員が順次、皆様ににかほの観光について、情報提供していきたいと思います。つたない文面で分かりにくい部分が多々あるかと思いますが、私たちが話す言葉？よりは、いくらかマシ？かと思しますので、よろしく願いいたします。

今回は、中島台獅子ヶ鼻湿原について、ご紹介いたします。

「あがりこ大王」と称される日本一の異形ブナ、希少なコケの群生「鳥海マリモ」、鳥海山からの恵みである伏流水「出つぼ」。この3つが中島台獅子ヶ鼻湿原では見逃せない場所です。一目見た感動は、あなただけの宝物です。

一周約5kmの遊歩道が木道を敷いて整備されています。時間的には約3時間かかりますが、案内人さんと回ると、感動も倍増しますので、もしお出でいただくのであれば、案内人さんを必ずお願いすることをお勧めいたします。ただし、こちらの言葉で説明いたしますので、分からない言葉を発した場合は、再質問してください。それでも分からない場合は、その場の流れを察知し、肌で感じて、コースを進みましょう！

森全体がブナの木が大半を占めますが、ほとんどのブナの木は真っ直ぐに成長していません。写真でも分かる通り、途中から空に向かい成長しています。これは昔、炭を造るために降り積もった雪の上から、幹を切ったため、そこから新芽が出て、成長したためです。百聞は一見にしかず！

いずれにしても、言葉では言い尽くせない中島台獅子ヶ鼻湿原です。6月の新緑からはじまり、10月の紅葉の時期までの、感動満載の湿原にぜひ一度、お出でいただければと思います。

次回は、蛸満寺と九十九島をご紹介します。お楽しみに！



鳥海マリモ

出つぼ